

2021年度静岡県立大学入学式式辞

2021年4月8日木曜日

静岡県立大学学長 尾池和夫

静岡県立大学短期大学部に入学の117名、学部に入学者の684名、大学院博士前期課程、修士課程に入学者の122名、博士後期課程、博士課程に入学者の36名の方々、ご入学まことにおめでとうございます。静岡県立大学の役員、教職員を代表して皆さまをキャンパスに歓迎します。ご家族の皆さまにも、遠隔でのご参加ですが、ここからお祝い申し上げます。

皆さんの中には、今年初めて選挙権を持つ方もいます。政治に関心を持ち、ニュースを読み、自分の考えを持ち、選挙を通して政治に参加する意識を持っていただきたいと思えます。その際、2次的な情報源に偏ることなく、しっかりした新聞、公共放送の発信するニュースに接することが大切です。マスメディアの質を自ら判断することが大切です。

大学生にはさまざまな特別の権利があります。当然ながら学習する権利は基本であり、学習は義務であるとも言えます。大学では、多くの教員が研究成果をもとに常に新しい知識を蓄え、皆さんの学習を支援します。授業では教員から蓄積された知識が解説されますが、ニュースと同じで、自ら原著論文を読み、理解を深めてください。そして、そこから生まれた疑問を、小さな疑問であっても大切にしてください。その疑問から未知の世界に入っていくことができます。そこから時には新しい学問の分野が生まれ、育てられます。

皆さんは今日から、この大学で世界に目を向けながら、それぞれの未来に夢を描き、学習を始めます。静岡県には最高峰の富士山、駿河トラフの深い海、豊かな大地の里山と都市があります。その大地の仕組みが理解していただけるように、私も地球科学者として知の蓄積を紹介していきたいと思っています。大学では、人類の知の蓄積を熟知した教員がいて、直接逢うことができるのが皆さんの特権です。大いにそれを利用して、研究成果を学ぶ機会を作ってください。

大学生の特別な権利は、学習の他にもあります。例えば、さまざまな学生割引の制度があります。公共の乗り物の割引を使って、できるだけ多くの地域に出かけてください。そして大自然の景色の中で、独りでマスクを外して歩くことをおすすめします。感染症対策を利用して人生を愉しむ方法の一つです。

静岡県には多くの河川があります。それらの河川敷を利用してたくさんの鯉のぼりを空に泳がせる企画があります。例えば静岡県中部では、島田市川根町家山の桜トンネルが知られています。今、満開の桜並木ですが、大井川を渡って鯉のぼりが泳ぎます。藤枝市の蓮華寺池（れんげじいけ）公園には間もなく見事な藤が見られますが、その池に鯉のぼりが渡されます。静岡市駿河区登呂の高松浄化センターの鯉のぼりもあります。

伊豆半島ユネスコ世界ジオパークは、「南から来た火山の贈りもの」というキャッチフレーズで知られる、日本列島に60万年ほど前に連結した火山群の大地の公園です。ジオパークの大地の成り立ちが分かる見どころを「ジオサイト」と呼びますが、それらを巡って伊豆半島の成り立ちを知って、地球の営みを身近に感じることができます。

県立大学は静岡県という地域に貢献する大学であることを使命と思っています。その具体的な仕組みとして産学連携や地域連携の企画が実行されます。授業を通して、またプロジェクトに参加して、社会実装という形で、それを体験してほしいと思います。その体験が卒業後の皆さんの財産になります。

これからの世界では、生涯健康を維持しながら、生涯学習を繰り返し、常に新しい知識を得ていくことが大切です。大学では、生涯、学習を続けることのできる能力を身につけてほしいと思います。社会人が学習することを支援するのも大学の役目です。国策としても、職業に必要な知識やスキルを、生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進など、人生100年時代を見据えた生涯学習の推進に取り組んでいます。生涯学習を続けるためには、例えば、自国語を磨き、国際語としての英語をマスターし、できればもう一つの外国語を学ぶことを私はお勧めします。

キャンパスの中も、時間を作って観察してみてください。小鹿（おしか）キャンパスは、草薙キャンパスから約5km離れた街中にあります。近隣には静岡済生会総合病院や特別支援学校、商店街があり、学生が暮らしやすい環境です。

草薙キャンパスは、駿河湾を一望する標高307mの日本平の北の麓にあります。富士山が見渡せる丘の上に、本学のほか、静岡県立美術館があり、教育と文化の地域となっています。学生ホール、講堂、図書館がある半円形の広場に「コミュニティプラザ」を設けています。

さらに上へ行くと、大学附属の薬用植物園があります。薬学部での学習に必要な植物の栽培、収穫、研究を行いながら、広く一般の県民などに生涯学習の場を提供することを目的に、1989年、静岡県立大学の開設と同時に設置されたもので、栽培植物約800種があります。一般にも開放しており、見本園、温室は見学自由です。見本園の植物には、植物名、学名、科名、薬局方などの名称、利用部位、利用目的、成分、産地、原産地が記されています。植物の中には猛毒のものもあるということも、そこで学んでほしいと思います。今、薬草園の桜、通草、翁草などが、皆さんを歓迎して咲いています。学長のブログでも、それらを紹介したいと思っています。薬草園のサイトで今月の花の紹介などを見て、ときには大学内の見学コースに入れてみてほしいと思います。

皆さんは、静岡県というすばらしい環境の中で、これからの学園生活を大いに楽しんでほしいと思います。在学の期間はあっという間に過ぎていきます。学習とともに大いに静岡県を歩いて、その魅力を世界に向かって発信する人となって卒業していただきたいと思っています。

感染症拡大の中で、4月5日には学生向けの一斉メールで注意喚起を行いました。感染症を拡大させないための具体的な知恵を、皆さんにお伝えしたいと思います。

まず、ご自分がウイルスを持っていると考えてください。感染させないために、マスクをして人との距離を保ちます。物に触るときには手を消毒します。今の新型コロナウイルスによる感染は、首から上の鼻、喉、目、たまに耳から入ったウイルスが粘膜に付いて起こります。自分が感染しないためには、首から上に触れる直前に手指を消毒します。

その消毒の仕方が大切です。よくレストランの入口でアルコール消毒し、着席してからマスクを手で取る人がいますが、マスクにウイルスが付いていますから意味がありません。マスクを外した後、手指をアルコール消毒します。アルコール消毒の要点が3つあります。まず、アルコールの濃度が70パーセント以上であることが必要です。次に手が乾いていることが重要です。濡れているとアルコールが薄まるからです。3つめに、アルコール消毒して15秒後になってウイルスが1000分の1に減るということが重要です。その15秒を測るために、「ハッピーバースデーユー」を1回唱えます。これらを必ず守ることで自らが感染しないようにしてください。

感染症の拡大の中で、感染させないように、また感染しないように、緊張感をもって対処しながら学習していただきたいと思います。心身の健康に充分留意され、学園生活を謳歌してくださるようにと祈り、私のお祝いの言葉とします。

入学おめでとうございます。ありがとうございました。